



すんでみはら。

2

February
Vol.203

..... 三原に住む若者が語る、三原の魅力

“三原だるま”の魅力を次世代へ継ぐ

三原だるま保存育成会 ● 山田桃花(右)
● 渡辺麻依(左)

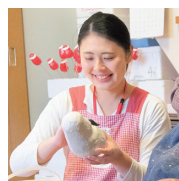
Daruma Creator / Mai Watanabe・Momoka Yamada



だるま作りの師匠

佐木島でだるま作りを指南する鳥生代表。「会に若手が加わったことがうれしい」と語ります。

三原で生まれ育ち、現在は市内の金融機関に勤める渡辺さんと山田さん。地域の伝統工芸である三原だるまの歴史に触れ、三原だるま保存育成会(鷺浦町の鳥生悦郎代表に弟子入りしました。繊細で手間のかかるだるま作り。「簡単ではないからこそ、やりがいを感じる」と情熱を燃やしています。令和3年12月には青年部会を発足させ、今春からは小学校でだるま作りの体験授業を行う予定。作り手の思いを込めた三原だるま。伝統工芸を受け継ぐ若い力が、地域を盛り上げてくれそうです。



型を作る渡辺さん



色を付ける山田さん

三原の若者にQ&A

Q だるま作りを経験した感想は?

A 作業工程が多く、一つのだるまが完成するまでに何日もかかります。眉やひげなどの絵付けも難しいですね。(渡辺さん)

Q 今後の夢や目標は?

A 青年部会の活動を通して、子どもたちの郷土愛を育みたいです。そして、佐木島をだるまの名所にしたい!(山田さん)

令和4(2022)年2月号 第203号 毎月1日発行
編集・発行 / 三原市広報戦略課 0848-676007

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
代表 0848-642111 FAX 0848-647101
E-mail: info@city.mihara.hiroshima.jp

広報みはらは環境に配慮した大豆インクを使用しています。
リサイクルしやすいよう、ホチキスは使用していません。
点字版や録音CDも発行しています。